

	学校だより 芽吹き	FOR 2050	教育目標 1 自ら学び、考え、実践できる人になろう（賢く） 2 思いやりのある、心豊かな人になろう（優しく） 3 心身ともに、たくましい人になろう（逞しく）
	NO. 183 令和6年1月9日発行 中野区立南中野中学校		



ファミリー

校長 竹之内 勝

1月9日(火)の全校朝礼における校長講話から

はじめに、昨今の災害に際し、被災された皆様に、心からの哀悼とお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い平穏な日常が戻ることをお祈り申し上げます。皆さんの中にも、ご親族やご友人など、被災された方がいらっしゃるかもしれません。不安・心配等の際は、スクールカウンセラーをはじめとする専門家が南中にはいますので、遠慮なく相談してください。

改めまして、おはようございます。2024年、令和6年、辰年がスタートしました。昨年より更に、「目標が**たっ**成するいい年」になります。今年もよろしくお祈りします。

後期後半の始まりにあたり、今日も笑顔の皆さんと会うことができ、とてもうれしく思っています。冬休み中も、家庭での役割や学習、部活動などに努力した生徒がたくさんいました。

3年生は進路決定に向けて、
2年生は最高学年へのスタートに向けて、

1年生は憧れの先輩となる準備に向けて、しっかり態勢が整っている姿を嬉しく思います。様々な人が一体となり、改めて、大きな成果を感じています。

さて、新年最初の朝礼は、毎年「家族」について話をしています。お正月には、家族と過ごしたり親戚と会ったりする機会が多かったことと思います。時に、いやな部分や面倒な部分もあるでしょうが、理屈ではない信頼感は深く、「やはり家族っていいな。」との思いを確認するのも、お正月のよさです。

私たちは、学校で出会った仲間や友人など、血縁関係がなくとも家族と同様の信頼関係で結ばれている「家族」をいくつももっています。よく「〇〇ファミリー」「〇〇組」「〇〇軍団」「〇〇同盟」などと呼ばれ、その関係は、何ものにも代えられない大きな力となっています。「〇〇チルドレン」なども、兄弟姉妹に例えられるその一つでしよ

う。家族の喜びは自分の喜びであり、自分の喜びは家族の喜びです。家族は喜びを大きくし、家族は苦しみを分かち合い小さくすることができます。今年も様々な出会いがあることでしょう。これまでに築いてきた「家族」との信頼関係を更に深めながら、新たな「家族」を更に築いていきましょう。そのような「家族」をたくさんもつことこそ、豊かな人生につながります。そして、私たちは、

「南中ファミリー」

です。今年度末までの約3ヶ月、「南中ファミリー」の絆を更に深め、その絆がエネルギーになることを願っています。

そんな中、困ったことや悩み、不安があったら、信頼できる3人以上の大人にSOSを出してください。信頼できる大人が見つからない場合は、iPadにダウンロードした「中野区SNS相談窓口『STADND BY』」をはじめ、メールや電話相談でSOSを出してください。GoogleClassroomの「生活ガイダンス」に添付してある電話や、メールによる相談先を、ぜひ利用してください。



そして、本日この後、スクールカウンセラーの小田原先生から、皆さんへのアンケートがあります。学校のことや友人のこののみならず、家庭のことも何でも構いません。「SOS」を出すことが、様々な悩みを解決する第一歩です。

2024年、令和6年も、「FOR 2050(2050年に向けて)」

～東京一さわやかな

あいさつのできる学校～」

のもと、たくさんの笑顔が**つ**み重なる幸せな**年**としましょう。

後期後半も、笑顔**た**っぷりの毎日を送っていきましょう。

【意見交流テーマ】

○ 「た」「つ」「ど」「し」での

ポジティブ(前向き)作文

例として、

「た」のしく

「つ」よく

「ど」んどん乗り越え

「し」んじた道を進んでみせる

いかがでしょうか。みんなへ伝えるように、担任の先生から指示された交換ノート等にご記入ください。意見交流後、更によりよい考えをもって、校長室に来てくれることを心待ちにしています。